

中国少数民族の漢字系文字

■漢字系文字は中国周辺の少数民族の間で広く用いられた。たとえば、貴州省一帯のカム族（侗族）は、「消」という漢字の音を借りてカム語の [ca:u]（あなたたち）を表わし、「風」という漢字の意味を利用してこれをカム語の [lɔm]（風）で読んだ。前者が仮借で、後者は訓読。このように、カム族の文字は変用文字が主体であることから、先の「（2）漢字関連文字とは」では変用の下に収めたが、実は変形文字も用いる。すなわち、意味を表わす人偏「亻」と発音を表わす「不」を組み合わせて新たな文字「休」を作り、カム語の [pu]（父）を表わす。

■変用文字や変形文字を用いる民族は少なくない。次に手短かに紹介する。

- ①上で解説した中国の湖南省・広西壮族自治区・貴州省一帯のカム族（侗族）の文字。この文字資料の初出は明末清初であり今でも使用される。
- ②中国雲南省のハニ族（哈尼族）の文字。一般に使用された文字ではなく、20世紀中頃以前とされる資料が僅かながらある。
- ③広西壮族自治区のチュワン族（壮族）の文字。古くは唐代に遡る資料がある。文学作品をはじめ多方面にわたる資料があり、今でも使用される。
- ④中国湖南省のミャオ族（苗族）の文字。清末に苗族の知識人が考案した文字で、今でも広い範囲で使用されるようである。
- ⑤中国貴州省のプイ族（布依族）の文字。変用文字が主体であるが80字ほどの変形文字も報告されている。
- ⑥中国雲南省のハク族（白族）の文字。古くは唐代にさかのぼり今でも使用される。この文字には変用文字と変形文字があるが、時代が下るに従って変形文字の使用範囲は縮小し、逆に変用文字（仮借の用法）が増えるという興味深い現象がみられる。
- ⑦雲南省・広西壮族自治区一帯のヤオ族（瑶族）の文字がある。

これらの中国の少数民族は変用文字と変形文字を併用するが、おそらく、初期においては漢字で書いた中国語の文章をそのまま利用して意思の伝達を図っており、その延長として変用文字や変形文字の利用に至ったのであろう。上に挙げた少数民族の言語は、中国語と同様に、形態素（最も小さな意味の単位）は1音節が主体となっており、漢字および漢字系文字の利用については、少なくとも言語構造の面からの大きな抵抗はなかったであろう。

■漢字系文字の分布

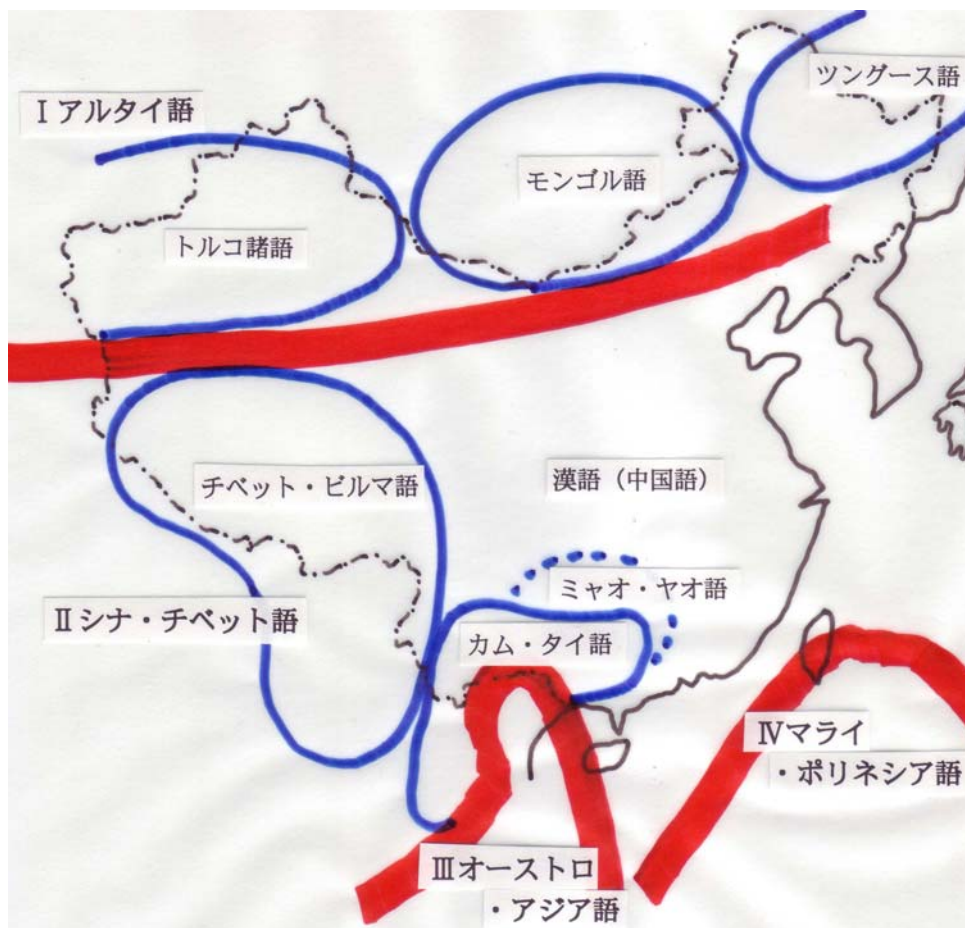
おもしろいことに、漢字系文字を使用する地域は中国周辺の南方一帯に偏っている。これは、北に多音節の形態素を主体とするモンゴル語や満洲語や朝鮮語などがあり、南に1音節の形態素を主体とする中国少数民族語やベトナム語があることと無関係ではない。無関係ではないとは次のようなことである。

北方の諸民族も当初は漢字による中国語の文章を利用していた。その後、モンゴル系とされる契丹は契丹文字を作り、ツングース系とされる金は女真文字を作った。これらは擬似漢字系の文字であるが、漢字系の変用・変形文字も含んでいる。このように、北方にあ

っても漢字系文字を利用する例はあるのだが、北方の諸民族は概して漢字系の変用・変形文字を発展させることはなく、ソグド文字に発するウイグル文字・モンゴル文字・満洲文字・シボ（錫伯）文字を使用した。いわゆるソグド系文字である。このソグド系の文字は単音文字であるから、多音節語が主体の北方諸民族にとっては、漢字系文字よりも、はるかに利用し易かったのであろう。

もつとも、南方の中国少数民族の間で使用された漢字系文字といえども、1950年代以降は新中国の政策によりラテン系文字が正式な文字として採用されたこともあり、ラテン系文字に取って代わられる趨勢にある。隣国のベトナムでも漢字系文字のチュウ・ノム（字喃）からラテン系文字に切り替わっており、漢字系の変用・変形文字の使用範囲は急速に縮小している。

なお、参考までに東アジアの簡略な言語地図を挙げる。



参考文献<発行年順>

梁 敏 1980. 『侗語簡誌』民族出版社,89 頁。

趙麗明 1991. 「漢字侗文與方塊侗字」, 『中国民族古文字研究』天津古籍出版社,215-220 頁。

李永燧・王爾松 1986. 『哈尼語簡誌』民族出版社。

梁庭望 1991. 「古壮字及其文献新探」, 『中国民族古文字研究(第三輯)』天津古籍出版社、150-164 頁。

吳慶祿 1991. 「布依族古籍中的方塊布依字」, 『中国民族古文字研究(第三輯)』天津古籍出版社,230-244

頁。

王鋒 1996. 「方塊白文的歷史發展和現狀」,『中国民族古文字研究(第四輯)』天津古籍出版社,225-237 頁。

周有光 1989. 「漢字文化圈的文字演變」,『民族語文』1989 年第 1 期,37-55 頁。

中国社会科学院民族研究所主編 1992. 『中国少数民族文字』中国藏学出版社。

西田龍雄 2001. 「壯文字」,『言語学大辞典 別卷 世界文字辞典』(河野六郎・千野栄一・西田龍雄編著)三省堂,2001 年,605-609 頁。

(文責：吉池孝一)